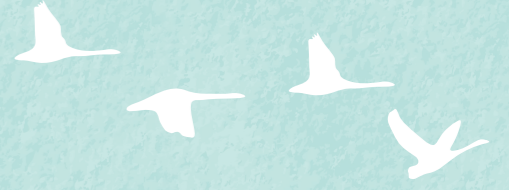


暮らしを、共に。

as partners & 8



アズパートナーズ スタッフからの声

チームビルディングのための
ワークショップが、
ほんとは参加してよかったと
思います。
アズハイム葛飾白鳥 スタッフ

受付アプリはとて素晴らしいなあと
思いました。お客様も慣れて
いただければ、かなりスタッフの
負担が減ると思います。
今後の進化が楽しみです。
ユニット長

地域とのつながりに
期待したいです！
本社 スタッフ

休憩室の一人で過ごす
カウンター席は今の時代に
合っていると思いました！
ケアカーフ

仮眠室がすごく良かったので今後の
開設でも続けてほしいです。
スタッフほとんどに喜ぶと思います。
アズハイム葛飾白鳥 スタッフ

若い世代を中心として熱意を
感じる内容でした。これからの
新規事業所にも期待したいです。
センター長

全てが新鮮で素敵でした。
私も葛飾白鳥で働きたいです！
ケアスタッフ

プロジェクトメンバーが 込めた想い

「あこがられる事業所」の実現がスタッフはもちろん、お客様の
幸せにも必ず繋がっているという想いで、このプロジェクト
に向き合いました。
20周年を記念して、アズハイムに新たな歴史を刻むことが
できたと感じています！



C.I. 2019年新卒入社
総務セクション

「少しでも現場の役に立てれば」という想いで10を超えるシステムやソリューションの導入を検討し、新しいものを導入する難しさを痛感しました。この学びを活かして「この先」も介護をより良くして、人を幸せにできる取り組みをしていきたいです。



S.K. 2020年新卒入社
IT・DXセクション

開発担当として、プロジェクトメンバーから多くの新しい意見ができたことはとても新鮮でした。働くスタッフのために何が出来るか意見を出し合い、何が実現できるか考えていく過程はとてもやりがいのあるものでした。



A.M. 2022年中途入社
シニア開発セクション

地域にどのようなニーズがあるのかという視点を大切に取り組みました。「アズハイム葛飾白鳥と地域を繋げる土台作り」を開所前に行えたことは今回の大きな成果だと思っています。



M.S. 2020年新卒入社
新卒採用セクション

働くスタッフの方々がいて、事業所は完成する。本当に意味があると思えることをしよう。そんな気持ちで取り組んでいました。「参加してよかった」と言っていただけで事業所見学とワークショップは、心からやってよかったと思えました！



M.T. 2020年中途入社
人事労務グループ

何を取り入れるべきか答えが出ない問題ばかりでした。「あこがられる事業所」を実現するためには、価値観、考え方が違うメンバーと向き合い、調整を重ねることが重要だと再認識しました。



C.W. 2018年新卒入社
新卒採用セクション

アズハイム葛飾白鳥オリジナルロゴ

アズパートナーズが今後も大きく飛躍することの願いをこめて、羽ばたく白鳥をイメージしてロゴをデザインしました。ロゴは建物内の各所に配置しており、特にホームとデイサービスに共通で浴室入口に2羽の白鳥が向き合うようにロゴを入れた暖簾を制作し配置しています。これにはホームとデイ、お客様とスタッフが向き合い寄り添ってより良い事業所をつくっていこうという想いをこめました。



AS-HEIM KATSUSHIKA SHIRATORI

20周年事業所づくりプロジェクト

アズハイム葛飾白鳥
介護付きホーム・デイサービスセンター

創立20周年を記念した、
若手社員が自信と誇りをもって
業界や社会を変えていける事業所を創るプロジェクト。
「あたりしさが「愛着」へと育ってゆき、
従業員がいきいきと働く。
そしてあらゆる方々を幸せにする「その先…」へ
つながってほしいという想いで取り組みました。

憧れられる事業所



憧れられる4つのこと



建物 働きたくなる職場、住みたくなるホームに

ホーム休憩室



フロアや事務所とは異なる雰囲気のお部屋を作りました。テーマは「落ち着けるカフェ空間」です！仕事と休憩のオンオフを切り替え、気分をリフレッシュして元気にフロアへ戻れるようにという想いを込めています。ひとりでゆっくり過ごせるカウンター席の設置、こだわりのコーヒーマーカーを用意するなど、備品も工夫しました。

デイサービスセンター休憩室



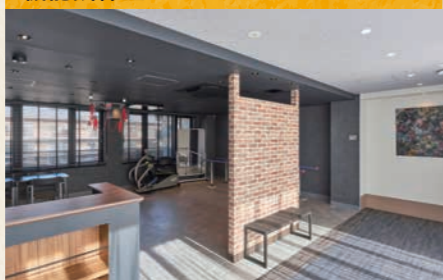
アズハイムのデイサービスセンターでは初めての休憩専用の部屋を増設しました。休憩時間にほっと一息ついてほしいという想いでインテリアで雰囲気を換え、クッションやマッサージ機なども取り入れました。休憩後に、また元気にお客様と関われるように明るい色彩にしたことも工夫した点です。

屋上



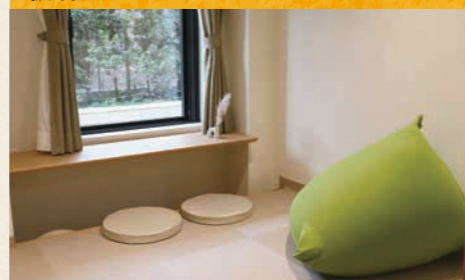
「ユニバーサルベンチ」を設置し、どなたでも快適に過ごせる環境を整えました。また、実なる木を植え、四季を感じながら収穫を楽しめる工夫を施しています。生活の中で自然にリハビリを行える場、お客様の心身の健康維持を支える大切な空間を目指しました。

機能訓練室



リハビリスペースではなく「街中のジム」を目指しました。黒を基調としたシックな雰囲気です。居住スペースと差別化、自発的に向かいとなるような運動スペースをイメージ。集中して運動に取り組める空間を作っております。

仮眠室



夜勤中の仮眠だけでなく、日中には靴を脱いでの休憩、オンラインミーティングなど多様に活用できる空間を目指しました。小上がりで掘りごたつカウンターがあり、ほっと一息つけるような和室をイメージした空間をつくりました。

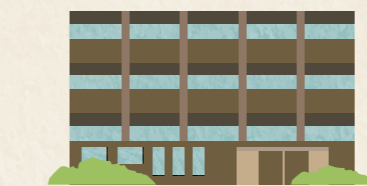
地域 地域と共に歩む 「地域共創型事業所」を目指して



開所前から地域とのつながりを深められたことが、今回の大きなポイントです。地域交流を取り入れている事業所や自治会との交流を通じ、若手世代のイベント参加、ボランティア活動のための場所提供といったニーズが見えてきました。当社の強みである若さを活かして地域の橋渡しとなり、信頼される事業所を目指していきたいです。



働き方 新たな事業所で、チームの絆を育む3つの企画



他事業所見学

他事業所を訪れ、事業所長の新規開設時のエピソードを聞き、見学をしました。新規開設に関わる姿を具体的にイメージし、仕事への理解を深めることを目的としました。また、他事業所の歩みを知り、新たな視点を得る機会となつてほしいという想いを込めています。



合同ワークショップ

チームで働くための基盤を作り、チームの一員である意識を高めることを目的に、ホームとデイサービス合同のワークショップを実施しました。個人ワークとグループワークを交え、2事業所合同と各チームの目標を作成しました。



モチベーションカード

メンバー同士で互いの行いや働きにメッセージカードを贈りあう取り組みです。仲間の個性や強みを理解し、認め合う環境を整えることで、支え合う文化を築き、互いのモチベーションを高めてほしいという想いで企画しました。

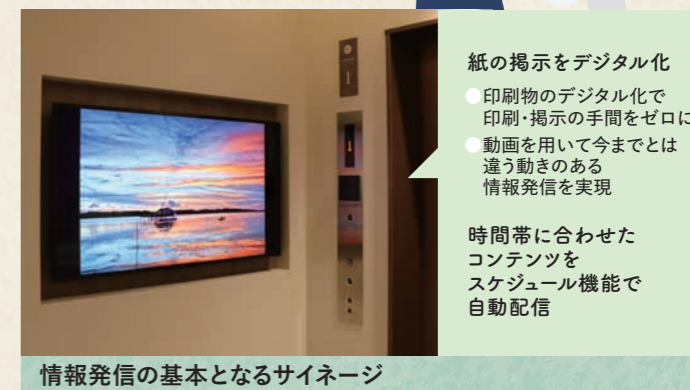


IT・DX デジタル化で業務や情報発信をスマートに



スマートな受付業務

これまでは記入用紙で受付を行っており、玄関を開けて、記入が終了するまで事務スタッフが付き添いの状態でした。タブレット入力に移行して事務スタッフの業務を削減。さらにケアスタッフが使用するスマートフォンへ自動的に情報共有ができるようになりました。



情報発信の基本となるサイネージ

- 紙の掲示をデジタル化
 - 印刷物のデジタル化で印刷・掲示の手間をゼロに
 - 動画を用いて今までとは違う動きのある情報発信を実現
- 時間帯に合わせたコンテンツをスケジュール機能で自動配信

印刷して各階の掲示板に貼っていたお食事やレクリエーションのカレンダーをサイネージに表示できるようになりました。印刷等の手間を削減できることに加え、イベントの映像など動きのある情報発信が可能となりました。

